

◎ 事業別財務諸表を活用した評価

① 障害者スポーツセンター（障害者総合スポーツセンター・多摩障害者スポーツセンター）

- 障害者のスポーツ・レクリエーション活動の振興と社会参加の促進を図るために設置された施設であり、年間約38万人（平成25年度）の方に利用されています。

《 平成25年度財務諸表 》

貸借対照表

<b>資 産</b> 67.1 億円	<b>負 債</b> 2.0 億円
固定資産 〔うち土地 47.9 億円〕 〔うち建物 18.9 億円〕	都債 2.0 億円
	<b>正味財産</b> 65.1 億円

行政コスト計算書

行政収支の部	
<b>行政収入</b> 0.1 億円 〔うち使用料及手数料 0.1 億円〕	
<b>行政費用</b> 8.2 億円 〔うち人件費 3.0 億円〕 〔うち物件費 3.7 億円〕 〔うち減価償却費 0.9 億円〕	

- ・ 総資産に対する負債総額の割合が 3.0%となっており、負債への依存度が低い状態となっています。

《 財務諸表から読み取れる課題 》

資産分析

建物の老朽化とニーズへの対応

建物老朽化率：62.5%

- ・ 建物老朽化率は、都の建物平均（45.7%）を上回っています。また、開設当初と比べて利用者ニーズが多様化しており、それらへ対応するためにも、計画通り改修を進めていくことが求められます。

単位当たり分析

指定管理者による運営

運用経費：2,179 円/利用者

- ・ 本施設の運営は、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会が行っています。本施設における平成25年度の利用者数は37.8万人（前年度比0.6万人増加）で、利用者1人当たりのコストは2,179円となっており、今後もサービス向上とともに効率的な運営が求められます。

《 平成27年度予算における課題への対応 》

○ 施設の大規模改修

◇ 障害者スポーツセンター改修工事（1.9億円）

- ・ 障害者スポーツセンター改修基本計画に基づき、障害者総合スポーツセンターでは工事の実施設計、多摩障害者スポーツセンターでは基本設計に着手し、計画通り改修を進めていきます。
- ・ 改修工事により、施設の老朽化に対応するとともに、障害者スポーツの競技力向上に向けて、施設の機能を充実させるなど、多様化するニーズに対応していきます。

## ② 調布飛行場

- 調布飛行場は、伊豆諸島への空の玄関口として、年間約6.9万人に利用（平成25年度輸送実績）されているほか、防災・医療・消防の緊急活動などの拠点として、重要な役割を担っています。

### 《 平成25年度財務諸表 》

#### 貸借対照表

<b>資 産</b> 151.3 億円	<b>負 債</b> 10.5 億円
うち固定資産 〔うち土地 138.0 億円〕 〔うち建物 6.1 億円〕 〔うち工作物 6.9 億円〕	都債 10.0 億円 退職給与引当金 0.4 億円
	<b>正味財産</b> 140.9 億円

#### 行政コスト計算書

行政収支の部	
<b>行政収入</b> 1.7 億円 〔うち使用料及手数料 1.7 億円〕	
<b>行政費用</b> 3.5 億円 〔うち人件費 0.5 億円〕 〔うち物件費 1.8 億円〕 〔うち減価償却費 0.5 億円〕	

- ・ 飛行場という特性上、広大な土地を有していることから、総資産のうち、土地が約9割を占めています。

### 《 財務諸表から読み取れる課題 》

#### 資産分析 建物等の維持管理

建物老朽化率：7.5%

- ・ 新ターミナルビルが完成したことにより、建物老朽化率は7.5%となっており、都の建物平均（45.7%）を大きく下回っています。今後も、計画的な維持補修などにより、資産を適切に管理していくことが求められます。

#### 単位当たり分析 航空機の安全確保

運用経費：24,490円/離着陸

- ・ 行政費用は、新ターミナルビルが完成したことに伴い、減価償却費などが増加し、前年度に比べ微増となりました。また、旅客機以外も含めた平成25年度の離着陸回数は約1.4万回であり、離着陸1回当たりのコストは24,490円となりました。今後も航空機の安全確保を第一とした運用をしつつ、コスト縮減に向けた取組が求められます。

### 《 平成27年度予算における課題への対応 》

- 飛行場施設・設備の改修
- ◇ 基本施設の改修等（1.0億円）
    - ・ 誘導路など、飛行場の基本施設の改修等を行い、安全の確保を図ります。
  - ◇ 設計調査等（0.5億円）
    - ・ 運航の安全に不可欠な航空灯火の劣化度調査などを実施し、計画的な改修を行っていきます。

### ③ 計量検定所・タクシメーター検査場

- 計量の適正な実施を確保するための機関として設置され、年間約30万件（平成25年度）の検査等を実施しています。

#### 《 平成25年度財務諸表 》

##### 貸借対照表

<b>資 産</b> 60.3 億円	<b>負 債</b> 42.7 億円
うち固定資産	都債 42.7 億円
〔うち土地 36.5 億円〕	<b>正味財産</b> 17.7 億円
〔うち建物 22.7 億円〕	
〔うち重要物品 0.9 億円〕	

##### 行政コスト計算書

行政収支の部	
<b>行政収入</b> 1.2 億円	
〔うち使用料及手数料 1.2 億円〕	
<b>行政費用</b> 4.5 億円	
〔うち物件費 3.7 億円〕	
〔うち減価償却費 0.2 億円〕	

- ・ 竹芝検査場の移転が平成 25 年 10 月に、計量検定所の移転が平成 26 年 1 月に完了したことにより、建物などの資産が増加しました。

#### 《 財務諸表から読み取れる課題 》

##### 資産分析

##### 資産の維持管理

建物老朽化率：20.6%

- ・ 建物老朽化率は、移転に係る取組により、昨年度の老朽化率（75.9%）から大幅に改善しました。
- ・ 移転に伴い、重要物品老朽化率（51.7%）も、昨年度の老朽化率（92.4%）から改善しましたが、中には都の重要物品平均老朽化率（63.7%）を上回っているものもあることから、計画的に更新を行っていくことが必要です。

##### 単位当たり分析

##### 適正な計量の実施

検査等費用：1,476 円/検査等

- ・ 移転にあわせて行った省エネ設備の導入などにより、維持管理コストの縮減を図った一方、移転に伴う初期費用が発生したことにより物件費は増加し、行政費用は4.5億円となりました。今後も、更なるコスト縮減に向けた効率的な運営が求められます。

#### 《 平成27年度予算における課題への対応 》

- 計画的な備品の更新
  - ◇ 検査装置の購入経費（0.1億円）
    - ・ 経年劣化が進んでいる検査装置の更新を計画的に行うことで、故障による業務の中断を未然に防止し、行政サービスの円滑な提供につなげます。
- 建物維持管理の効率化
  - ◇ 計量検定所・タクシメーター検査場の建物維持管理（0.9億円）
    - ・ 省エネ設備の導入効果により、光熱水費の縮減を図り、効率的な建物維持管理を行っていきます。

#### ④ 都立図書館（中央図書館・多摩図書館）

○ 都立図書館は、国際都市東京の広域的・総合的情報拠点として、東京の社会、教育、文化などの発展に貢献しています。

#### 《 平成25年度財務諸表 》

##### 貸借対照表

<b>資 産</b> 26.2 億円	<b>負 債</b> 25.2 億円
うち有形固定資産 25.5 億円	都債 15.9 億円
うち無形固定資産 0.3 億円	退職給与引当金 9.3 億円
うち重要物品 0.3 億円	
	<b>正味財産</b> 1.0 億円

##### 行政コスト計算書

行政収支の部	
<b>行政収入</b> 0.4 億円	
<b>行政費用</b> 20.9 億円	
〔うち人件費 8.5 億円〕	
〔うち物件費 10.3 億円〕	
〔うち減価償却費 1.3 億円〕	

- ・ 資産のうち、無形固定資産としては自館作成出版物の著作権を、また、重要物品としては中世ヨーロッパの手稿本の精密な複製本などを保有しています。

#### 《 財務諸表から読み取れる課題 》

##### 資産分析

##### 建物の維持管理と図書収蔵力の確保

建物老朽化率：65.8%

- ・ 建物老朽化率は、都の建物平均（45.7%）を上回っているとともに、2館合計の図書収蔵能力（311万冊）に対して、平成25年度末の蔵書数は307万冊に達し、図書収蔵力の拡大が急務となっています。そのため、平成28年度に予定している多摩図書館の移転を計画通りに進めていくことが求められます。

##### 単位当たり分析

##### 業務委託の活用

運用経費：262円/冊

- ・ 大規模な図書館業務を効率的に運営していくために、レファレンスサービスなどの基幹業務については専門性を持った司書が担い、資料出納などの委託が可能な業務については業務委託化を進めています。また、資料整理に係る経費から算出した蔵書（図書）1冊当たりのコストは、前年度（268円）に比べ、減少しました。今後も引き続き、より低コストで質の高いサービスを提供していきます。

#### 《 平成27年度予算における課題への対応 》

##### ○ 図書収蔵力の確保

##### ◇ 多摩図書館の移転改築に伴う経費（12.7億円）

- ・ 多摩図書館の移転改築により、図書収蔵力の拡大を図ります。

##### ○ 運営の効率化の推進

##### ◇ 都立図書館の管理運営（12.8億円）

- ・ 資料の整理業務やデータの維持管理、企画展示の運営などを補助する専門性の高い非常勤職員を配置し、体制の見直しを行うことで、サービスの向上を図りつつ運営の更なる効率化を進めていきます。